

◆ 2015年 第36週(8/31~9/6)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核(東讃 1件、中讃 2件)
- 3類感染症 なし
- 4類感染症 日本紅斑熱(東讃 1件、中讃 1件)
- 5類感染症 アメーバ赤痢(中讃 1件)、  
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(高松 1件)  
後天性免疫不全症候群(高松 1件)

**手足口病 流行中!**

予防のポイント!  
 ☆石けんと流水でしっかりと手洗いをしましょう。  
 ☆タオルやコップの共用は避けましょう。  
 ☆症状がなくなっても4週間程度、便の中にウイルスが排出されるので注意しましょう。

■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- 手足口病が流行しています。症状があるときは、十分な水分と栄養補給をしましょう。
- 感染性胃腸炎に気をつけましょう。  
調理や食事の前、トイレの後など石けんと流水でこまめな手洗いをこころがけましょう
- ヘルパンギーナに気をつけましょう。タオルやコップの共有などは避けましょう。
- マイコプラズマ肺炎の報告が増加しています。



2015年第36週の感染症発生動向調査による報告患者総数は412人で、前週(443人)の93.0%となった。

1. 手足口病の報告は、県全体(6.8→6.3)で減少しているが、警報レベルは継続している。高松地区(2.3→3.4)では増加しているが、他の地区は全て減少している。
2. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(2.7→2.5)で減少している。  
感染性胃腸炎(細菌)の報告では、県全体(0.4→0.6)で増加している。
3. ヘルパンギーナの報告は、県全体(1.6→1.2)で減少している。警報レベルが29週から継続していた中讃地区(2.6→1.8)でも減少し、警報レベル終息基準値(2)を下回った。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 手足口病	6.3人	6.8人	92.7%	5.5人	0.9人	◎↘	○↗	・↘	○↘	◎↘	◎↘
② 感染性胃腸炎(ウイルス)	2.5人	2.7人	90.8%	3.4人	2.5人	○↘	○↗	○↗	△↗	○↘	○↘
③ ヘルパンギーナ	1.2人	1.6人	73.3%	2.2人	1.3人	○↘	○→	・・	・・	○↘	○↘
④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.0人	1.1人	93.3%	1.0人	0.3人	○→	○↗	・・	・↘	○↗	△↘
⑤ 突発性発しん	0.7人	0.8人	86.4%	0.7人	0.7人	△→	△↗	・↘	△↘	△↘	○→

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し

前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検出方法	検出数	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	備考
なし							

ウイルス	検出方法	検出数	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	備考
Adenovirus NT	PCR	1	咽頭	2015/8/25	高松市	気管支肺炎	
Enterovirus NT	PCR	1	咽頭	2015/8/24	中讃	手足口病	
Rhinovirus	PCR	1	咽頭	2015/8/24	東讃	気管支炎	
Rhinovirus	PCR	1	咽頭	2015/8/26	高松市	不明熱	

◆ 気象週報 第36週の平均気温:24.5℃(過去の30年の平均気温:26.7℃)

平均湿度:83.1%

